

富士市アマチュア無線非常通信協力会設立20周年記念誌



無線の仲間たち

富士市政50周年記念局
8J2FUJI運用風景



平成28年7月
富士市役所屋上にて

ごあいさつ

会長 JR2IIC 西村密雄

富士市アマチュア無線非常通信協力会設立20周年に当たり、一言ご挨拶させていただきます。

会員各位におかれましては日頃からアマ無線協力会の活動に多大なるご理解とご協力をいただき、まことに有難うございます。また、この20年間を支えてくださいました市の事務局、顧問各位につきましては、心より感謝申し上げます。

さて、当協力会は平成8年10月に、阪神淡路大震災を機に、初代会長JA2APN(高澤氏)のもとに、総勢180局余の会員でスタートいたしました。

以来 心配された東海地震が発生することもなく現在を迎えています。全国に目を向ければ平成16年の新潟県中越地震、平成23年の東日本大震災、本年4月の熊本地震と次々と災害が発生し、国、行政は、被害者の救出、救援、被災地の復興など弛まぬ努力を余儀なくされています。また、地震以外にも火山の噴火、台風、大雨による洪水、土砂崩れなど災害の発生は、毎年途切れることはありません。

会員各位におかれましては、自分の身の安全を守る数々の訓練、講習会、研修会に参加して、日々成長スパイラルUPに励んでいただきたいところであります。(無線通信訓練などはそのものであります。)

今後も絶やすことなく、自分自身の命を守り、被害に会わない、減災を目標に活動を続けようではありませんか。

これまでの活動記録を振り返り 皆さん自身のアマチュア無線技士の特技を生かす活動に更なるご協力をお願い致します。

富士市アマチュア無線非常通信協力会
設立20周年記念誌 無線の仲間たち 目次

ごあいさつ

- 1 昭和30年代ごろの富士地域のアマチュア無線 3
- 2 非常通信協力会発足前夜・・・富士市議会での質問と市長答弁 5
- 3 東日本大震災 災害ボランティア支援活動のあらまし 7
- 4 非常通信協力会20年間の活動記録 13

1 昭和30年代ごろの富士地域のアマチュア無線

相談役 JA2APN 高澤勝彦

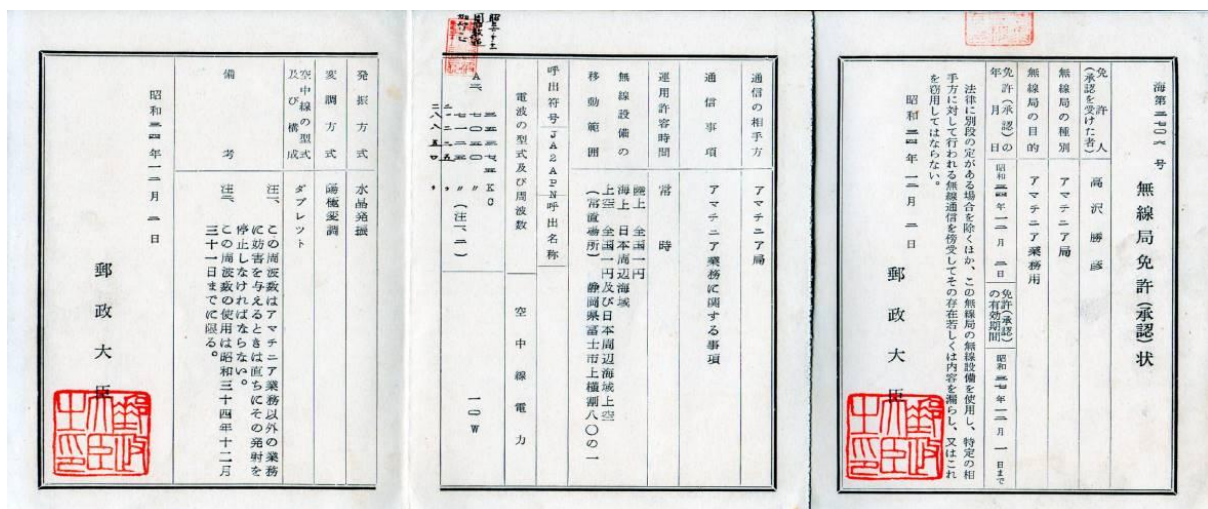
昭和 33 年までは、アマチュア無線には 1 級と 2 級しかなく、電信は 1 級のみ許可されていた。33 年の国会で電信級・電話級という資格制度が出来、翌 34 年の 4 月に初めての電信電話級の国家試験が行われました。それまでの 2 級の資格者は 5 年以内に電信の試験に合格すれば新 2 級の資格を与えるという移行制度があり、富士市では JA2NQ, JA2PY, JA2TJ, JA2AAK, JA2ALD 局が該当者でした。

昭和 34 年 4 月の 1 回目の電話級の国試には、JA2AOO, JA2APN, JA2AQA の 3 名が富士市から受験し資格を得ました。昭和 35-6 年、旧 2 アマの方は当時富士市で唯一のプロ 1 級通信士である JA2ALZ(望月氏)の家に伺い CW を教えて頂きました。JA2APN も電信級を受けたいと言って一緒に CW を覚えたものです。

当時の試験は、どの資格でも記述式であり、2 級以上は予備試験(無線工学の基礎)に合格しないと本試験や CW の実技試験に進むことが出来ませんでした。実は JA2APN は電信級と 2 級を同時受験したのですが、皆には電信級と言っていたのに実技試験では旧 2 級の方と同時だったので、同時受験がバレてしまい”うそつき”とって罵られたことを思い出します。

当時の使用できる周波数は、電信電話級は 8Mc 以下 50Mc 以上の 10W でした。アマ無線の下限周波数が 3.5Mc だったので初級局は 3.5Mc と 7Mc が入門バンドで、少したってから 50Mc と 144Mc の免許を受けたものです。

免許を受けるといっても今と違い準備として半径 50m の地図を描き、無線機の系統図、受信機の系統図やアンテナの形式図、又、発振方式や変調方式まで申請書に記入し、予備免許が与えられ試験電波を出し、出力 1W でも落成検査があって名古屋の電波監理局から検査に来たものです。



写真は昭和34年に免許された移動局の免許状で当時は固定局と移動局では免許状の

形式が異なっており、固定局は B4 版のものでした。免許状を良く見ると発振方式とか変調方式なども免許状に記載されていることが分かります。このころは、同時に電波の発射が可能な無線機があると出力に関係なく複数の局免許を取得しなければなりませんでした。

吉原・富士・鷹岡が合併する前の昭和36年～37年頃だと記憶していますが、この協力会の相談役をお願いしていたJA2PY(伊東氏)が中心となり富士アマチュア無線クラブ(FARC)を設立し、今で言うロールコールやJA2ALZ(望月氏)の三輪自動車に無線機を積み、市内各地や松野村に出掛け、移動運用をしたことを思い出します。

当時は、市販の無線機はアメリカ製のものしか市販されておらず、製作が出来ないと電波を出すことが出来ない時代でした。多数の局が送信機は807シングルで、プレートスクリーン同時変調、受信機はケンウッドの全身である春日電気から発売されていたコイルパックを利用した高1中2(高周波増幅1段・中間周波増幅2段)で、中には5球スーパーやOV1(高周波増幅無し、検波後の低周波増幅1段)という設備でQSOを楽しんでいる人もいました。

昭和34-5年当時は大晦日には年越しロールコールが恒例で、1人10分送信しても1周するのに1時間程度かかるので、私のように途中で寝てしまったり、なかなか回って来ないので子供を風呂に入れていたよというメンバーもいた、のんびりした時代でした。

アワードも数は多くなく、国内ではJARLのALL-JA(全エリア)や、WAJA(全都道府県)・JCC(市)100・200～などで、今は存在していないと思いますがYL10局賞などもありました。

昭和40年以前の無線は悪用されることが懸念され、あるとき警察の方が我が家に来られ、富士地区の免許所有者を教えてくれと言われ、警察の監視下にあることを知りました。

どうしてと聞いたところFARCの中に1名警官がおり、高澤のところに行けば分かるはずだということでした。この頃のアマ無線は『趣味の王様』とも言われ、日本の伸び盛りの始まりだったので局数も急激に多くなりました。はっきりした記録はありませんが昭和40年ころの富士市には60～70局程度の方が免許を受けていたものと思われます。

2 非常通信協力会発足前夜・・・富士市議会での質問と市長答弁

副会長 JA2GDK 中村増美

CQ誌2014年1月号に、「大規模災害に備えるアマチュア無線」というタイトルの記事が掲載され、JR3QHQ 田中透氏が、平成7年(1995年)1月17日に起きた阪神・淡路大震災のときのアマチュア無線家の様子を次のように述べています。

“情報を持ちながら運用できる状態でも、それを「誰」に「どこ」に伝えればよいかまったく見当もつかなかったと、被災地の無線家から聞いています”

“想定外の災害にアマチュア無線家たちのほとんどが、行動を起こせなかったのです。これが阪神・淡路大震災発生直後の状況です”

もし、今日、私たちの非常通信協力会が結成されていなかったなら、富士地区のアマチュア無線家たちは、今もって田中氏の述べるような状況に置かれてしまうのではないのでしょうか。

非常通信協力会は、市民と行政のコラボレーションにより結成されました。そのきっかけの一つに富士市議会における議員質問と市長答弁があります。

当協力会の20年間の活動を振り返るこの機会に、当時の歴史を紐解いてみました。

平成8年3月7日(木)富士市議会2月定例会会議録

佐野喜貞議員の質問から関連部分を抜粋

阪神・淡路大震災直後の行政の情報収集能力は大変貧弱であったと思いました。適切な初動態勢をとるには、どれだけ正確な推定情報を組み立てられるかが決め手となるといった教訓からアクション項目3に、被災状況の把握と初期情報の収集、伝達する体制の確立を図る必要があるとして、見直しの方向としてアマチュア無線体制の強化確立とあります。

既に我が富士市には災害時における情報伝達をアマチュア無線により確保し、行政機関と連携をとり、またサポートして、多くの人命、財産を守るために協力しようという富士市レピーター防災無線ボランティア会が発足しております。この会は、既に警察とはネットワークを結んでおります。

富士市にその受け皿があれば、すぐにでもできるはずですが。情報収集伝達という言葉がお題目で終わることのないように、早急にコンタクトをとり、ネットワークを結ぶべきだと思います。

地震対策は、机上のマニュアルだけでは何の価値もございません。具体的に推進することにより初めて価値が出てくることと思います。昨晚も山梨県を震源地としたマグニチュード5.8、当市でも震度4の地震があり、いつ起こるかわからない東海沖地震に備えて早急に事業所の組織化を図り、自主防災組織に組み入れることと、アマチュア無線の対応について市長にご答弁をお願いいたします。

鈴木清見市長の答弁

アマチュア無線体制の強化確立につきましては、阪神・淡路大震災の教訓から一刻も早い情報収集伝達の有効な手段として認識されたことは周知のとおりでございます。

昨年4月、地域防災計画の見直しに着手しましたが、これまで本計画に位置づけがされていなかったアマチュア無線については、今回の見直しの中で確固たる位置づけをいたしてまいりました。

市では災害対策本部の防災行政無線を補完することを目的として、昭和55年からいち早く本部班、地区班に市アマチュア無線クラブの職員をアマチュア無線担当として配置してまいりました。

現在は21地区班のうち、3地区については未配置であります。新年度には全地区に配置が完了する予定でございます。

また、これと並行して市内のアマチュア無線愛好家を広く募り、災害情報の提供、連絡を目的とした(仮称)富士市アマチュア無線非常通信協力会を発足させていただき、市の災害対策本部との有機的なネットワーク化を図ってまいりたいと考えております。そのためには、議員もご案内の昨年10月に65名の会員をもって結成された富士市レピーター防災無線通信ボランティア会、この協力を強く要請してまいりたい、かように思っております。

佐野議員の二度目の質問

アマチュア無線のことでございますけれども、確かに今回、平成8年度の予算の中にも防災無線2億2000万をかけて行うということで予算化がされておるわけでございます。

私は、これは非常に大事なことだなと思うわけでございますけれども、先ほど申しましたように、阪神・淡路大震災におきましても、被害が及ばなかった地域と被災地との間で、アマチュア無線家が交信いたしまして、被災状況を日本赤十字社に伝えるなど情報伝達に協力した成果も上げられているということがあるわけでございます。そういった面でアマチュア無線のボランティア体制が確立されるということは、防災対応の充実につながると思うわけでございます。

そういった関係で、市長がこの辺につきましては、積極的に取り組んでくれているような答弁がございました。確かに今、私もちょっと聞きましたら、桑崎の地域は、このアマチュア無線というものが非常に大事だなということで、何かマニュアルづくりの検討を始めるというような本当に非常時のアマチュア無線の活用に非常に関心が高まった。そういう中で、アマチュア無線の資格を取ろうよというような声も上がっているようでございます。

特に富士市には私の記憶の中では、アマチュア無線技士資格を取っているものは、5000人を下らないじゃなかろうかと思えます。特に5000人が取っておりますけれども、実際にアマチュア無線局を開局している方は減るわけでございますけれども、3000人はいるんじゃないかな。実際に開局して交信している局長さんは、そのくらいいらっしゃるんじゃないかなと思えます。この3000人を本当にフルに活用したならば、私は、非常にすばらしい非常時に対しての情報伝達収集ができるんじゃないかな、このように思うわけでございますので、これにつきましては、積極的に取り組んでいただきたいということだけの要望にさせていただきます。

3 東日本大震災 災害ボランティア支援活動のあらまし

理事 JE2AVU 浅場幸夫

(1) 支援活動の日程

派遣期間 : 平成 23 年 7 月 15 日(金) ~ 18 日(月)

派遣場所 : 岩手県下閉伊郡山田町 山田町災害ボランティアセンター

支援内容 : 山田町災害ボランティアセンターの活動支援

他市町村の被害状況の把握及びボランティア活動

派遣ボランティア : 19名 (内 社協職員 2名 市職員 1名)

日程 : 15日(金) 05:25 フィランセ出発 (東名富士 IC → 首都高速 →

10:45 東北自動車道 → 鏡石P(福島) → 12:35 東北自動車道 泉P(宮城)

→ 東北自動車道東和 IC → 遠野市、釜石市、大槌町経由 → 山田町 18:10

16日(土) ボランティア支援活動 09:00 ~ 15:30

17日(日) ボランティア支援活動 09:00 ~ 15:30

18日(月) 08:30 山田町出発 → (他市町村現状把握) → フィランセ到着 21:00

(2) 山田町へ出発

平成23年7月15日(金)

早朝、05:00フィランセに集合し、05:25分一路山田町を目指し、東名富士インターから首都高速、東北道と何回かの休憩を取りながら順調に目的地近くまで進んだ。東北道を降り、遠野市、釜石駅付近までは我々がテレビで見たあの悲惨な光景は目にすることが無かった。

しかし、釜石駅を過ぎ、車窓の景色は一変、我々は言葉を失った。何もかもすべて飲み込んでしまったあの津波の恐ろしさ、迫り来る津波の中、必死に高台に避難した人々の恐怖は、我々の想像を絶する物があったと皆が感じた一瞬であった。バスは大槌町を経由し



ボランティアに参加した皆さん

2011.07.

て目的地、山田町に向かったが、目に飛び込んで来るのは瓦礫の山、所々に点在する津波の破壊力を感じさせる建物くらいで、そこに人影は全く無かった。そんな中ほぼ定刻、我々は山田町災害ボランティアセンターに到着した。

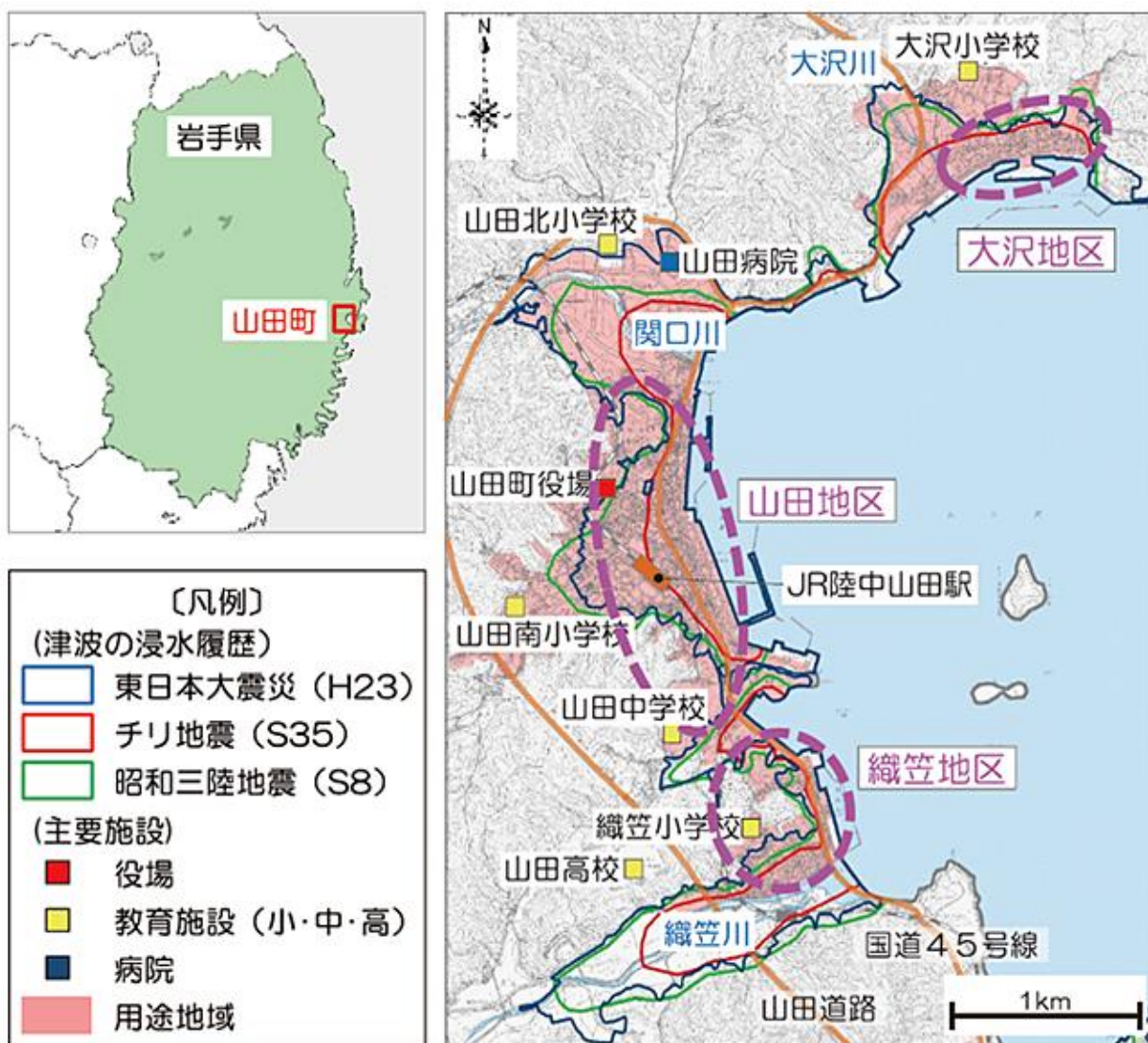
(3) 山田町の震災による被害状況

平成23年3月11日14時46分頃に三陸沖を震源として発生した東北地方太平洋沖地震(マグニチュード9.0)により、山田町では震度5弱が観測され、15時22分頃には山田湾に津波が到達した。津波の推定高さは8~10m、遡上高は最大25mにまで及んだ。(下図東日本大震災(H23)参照)

地震発生後、山田地区では大規模な火災が広がった。がれきによって道路が寸断され、地震の影響で水道も停止したため、消火活動が十分に行えないまま、陸中山田駅を中心とする市街地は広範囲にわたって焼失した。

津波による山田町の浸水範囲

※出典: 東日本大震災の浸水エリア...山田町資料 チリ地震、昭和三陸地震の浸水エリア...岩手県資料





左写真は釜石駅前のロータリー

ここは津波による被害は見られなかった。

見えている建物は新日本製鐵釜石工場。工場の空き地に瓦礫が山積みされていた。写真向かって左端 瓦礫が少し見えている。

バスの車中からの被災現場の様子、まだまだ片付けが進んでいない

乗用車が見えているが、これらの乗用車は持ち主を探し、持ち主の許可を得ないと処分する事が出来ないと言うことだった。目印なのか、車に○の付いている物やXが付いたのが点在していた。



(4) ボランティア活動を開始



平成23年7月16日(土) 午前9時 災害ボランティアセンター出発。山田町田の浜地区に向かう
瓦礫撤去作業に必要と思われる道具を調達し、現場に向かうところ。
スコップ何本、ツルハン何本とかチェック。返すときも同じようにチェックをしていた。



瓦礫を袋詰めする。
見る見る間に袋の山が出来ていった。
夏場の作業のため、何班かに分けて交代で20分に1回、休憩を取りながら作業をした。
このあたりは火災で焼けた家が多く瓦礫の処理に苦勞をした。

(5) 現地のアマチュア無線家との出会い

撤去作業をしているのを見て、山田町の職員だという方が見え、震災当日の話を聞かせてくれた。よくよく聞いてみたらその方は山田町の生涯学習課長の菊池氏(JM7CNN)とすることが判明、山田町にもアマチュア無線クラブが有りメンバーは40人ほどで毎年9月1日には非常訓練をしているとのことであった。

そこで今回参加しているメンバーに富士市アマチュア無線非常通信協力会の会員が4名いることを伝え、震災の時のアマチュア無線の活躍は新聞で承知しているので詳しい状況を是非伺いたい。又メンバーの中に佐藤副町長(JM7CJB)と交信した人もいと伝え、菊池氏はすぐに携帯で佐藤副町長と連絡を取ってくれ、何と公務多忙にもかかわらず予定を変更してこちらに来てくれるとの返事、これこそアマチュア無線を趣味とする者同士の成せる技と一同感激した。しばらくして佐藤副町長、総務課長が見え当時の話を聞かせてくれた。

田の浜地区は震災の津波で約6割の家屋が全半壊、隣接地区に繋がる国道45号線へのアクセス道路は崩壊し電話や携帯もつながらなくなり、追い打ちを掛けたのが森林火災。震災が襲った3月11日の夜、高台の元ホテルに避難していた109人の住民は迫り来る火勢におびえながら救助を待っていた。

3月11日 17:00 佐藤副町長が山崎氏(JH2NLF/MM)と交信が出来、船上からの田の浜地区の様子が伝えられた。

3月12日(土) 03:37分 漁協職員で消防団員の浦川氏(JM7PIO)と役場の対策本部にいた佐藤副町長と交信が出来、現場の状況を把握、町は自衛隊に救助を要請、無事109人の住民を救助した。



ボランティアセンターでのミーティング風景
ここで宿泊、1人専有面積は畳一畳分、ハエの多さと蚊に悩まされた。
体はシャワー又は自衛隊の風呂で流した。
食事は高台(歩いて15分～20分)に有るスーパーで調達した。

(6) 避難所の状況等

平成23年7月17日(日)

午前9時 瓦礫の除去、情報収集と2班に分かれボランティアセンターを出発。

情報収集班は山田町エリアの避難場所等を回り、避難場所、仮設住宅などの状況の確認を行うため、先ず山田高校の避難場所に向かった。

体育館が避難場所となっており、77世帯、171名の方が避難生活をしていた。居住スペースは背の低い仕切りがあるのみでプライバシーを云々する様な状態では無かった。

郵便ポスト、テレビ、災害本部からの伝言板、新聞、書籍などがあつた。

2～3人の方に話を聞くことが出来たが、避難当初は水とトイレが一番困つたと異口同音に言っておられた。又ピーク時には1,400名ほどの避難者がおられたとの事であったが、どうして生活していたのか想像が付かない。



次に、織笠(オリカサ)小学校にある避難所に行った
入浴施設が建物内に有り、入り口に「北海道森の湯」と書かれていた。



織笠小学校に行く途中にあった過去にここまで津波が来たと言う石碑

ここから少し下まで津波が押し寄せていた
先人たちの残してくれた教訓を生かすことが出来なかった。

午前11時 豊根間第2仮設団地、左右に30棟、20棟と分かれていて、中央に集会場が設置されていた。

午後1時 千徳地区体育館(遺体安置所)警察の管理、許可無く中には入れない。

午後2時 山田第4仮設団地、70棟の住宅が建設されていた。

平成23年7月18日(月)

午前8時30分 山田町ボランティアセンター出発

途中、遠野市にある静岡県のボランティアの拠点「遠野まごころ寮」に立ち寄り、
帰途につく

午後9時 無事フィランセに到着 解散

(7) ボランティアを終えて

我々が山田町にボランティア活動に入ったのは震災後4ヵ月後であったが、まだまだ復興は進んでいないというのが実感だった。田の浜地区の瓦礫をかたづけしているとき、隣の土地の持ち主の方が見え、うちのも片付けてほしいと言ってきた。そう言ったところからも復興の遅れが感じられた。又、我々は知らされていたが、決められた所しか片付けが出来ないという様な事が住民に伝わってないという感じを受けた。その方には事情を説明して納得して頂いたが何となく申し訳ないと言う感じだった。混乱の中、何もかもパーフェクトとは行かないだろうが被災者への情報提供が一番重要な事だけに如何に漏れの無いよう伝えて行くかを考えなくては成らないと感じた。

我々が山田町に入った時は震災後、4ヵ月経過しており通信インフラは復旧していたのでアマチュア無線を使ってのやり取りは目にする事は無かったが、東日本はもとより、阪神、新潟の時も、情報収集の手段として不可欠だったわけで、もし災害発生となれば重要な通信手段として必要とされる事は明らかである。その為にも我々富士市アマチュア無線非常通信協力会としては会員各位にその重要性を知らしめ、協力体制をより強固のものにしていく必要が有ると感じた。

4 非常通信協力会20年間の活動記録

理事 JR2PMQ 齋藤信泰

平成8年度(1996年度)

刊 岳 南 朝 日 1996年(平成8年)10月29日

アマチュア無線非常通信協力会を設立

12月1日に初の訓練を実施

会長に情報収集・伝達へ大きな力

災害時にアマチュア無線の機能・技術で協力をする「富士市アマチュア無線非常通信協力会」の設立総会が二十六日夜、同市中央町のラ・ホール富士で開かれ、アマチュア無線従事者免許証を持つ

た個人・団体、関係者ら百人余が出席した。会長には高沢勝彦さんが就任し、災害時に求められる迅速な対応に向け民間情報収集伝達システムの確立を図る。同会はアマチュア無線の発展と会員相互の親睦を図るとともに、阪神・淡路大震災を教訓に、災害時には技術をいかした協力態勢を整えることを目的としている。これまでも「市では地域防災無線システムを充実させて迅速な対応を図ろう」と取り組んで、市民の生命、財産を守るために行政無線と連携を図ってほしいとあいさつ。また、多々良元富土行政センター所長は、県は地震対策の総点検アクションプログラムをつくり見直しをしているとしたあと、「通信態勢の強化を図る上で民間の協力は大きい。防災訓練などの機会をとらえ訓練を行い、いざというときに備え対応できるようにしてほしい」と期待を寄せた。

続いて、役員選出が行われ、会長に富士市横割の高沢勝彦氏が就任した。高沢氏は「三十八年の免許取得歴を持つ高沢会長は、同会設立までの経緯を説明した。主な役員、所属は次の通り。」

▽会長 高沢勝彦(小島製薬)
 △副会長 西野年充(JP2YEX管理団体)
 △副会長 望月進(王子製紙)
 △大貫貴則(岳南鉄道アマチュア無線クラブ)
 △会計 牧野勲(富士市農協)
 △八ツ木正信(日本食品化工富士工場) △監事

士市役所 菅谷守孝(JP2YEU管理団体) 鈴木勝(田子の浦埠頭) 佐野年充(JP2YEX管理団体) 望月進(王子製紙) 大貫貴則(岳南鉄道アマチュア無線クラブ) 牧野勲(富士市農協) 八ツ木正信(日本食品化工富士工場)

選出された役員を紹介

設立総会会場
 ラホール富士
 平成8年10月26日(土)
 19:00

- 設立時役員
- 顧問 富士市長 鈴木清見
 " 富士県行政センター所長 多々良元
 " 富士警察署長 大野房男
- 相談役 JA2NQ 本原延男
 " JA2PY 伊東辰巳
- 会長 JA2APN 高澤勝彦
 副会長 JR2IIC 西村密雄
 " JF2UAQ 田中隆徳
- 理事 JA2GDK 中村増美
 " JA2QYN 菅谷守孝
 " JG2PKM 鈴木 勝
 " JH2KYI 佐野年充
 " JG2ODA 望月 進
 " JL2EKQ 大貫貴則
- 会計 JA2FWV 牧野 勲
 " JI2WLK 八ツ木正信
- 監事 JA2CNT 新村勝彦
 " JH2GNL 鈴木孝治

会員数 183名

『岳南朝日』1996年(平成8年)10月29日

平成9年度(1997年度)



屋外訓練及び親睦会
(レピータ使用方法の説明中)



富士市総合防災訓練に参加中
(原田小)



地域防災訓練参加中
(市役所駐車場)

本年度から協力会としての本格的な活動を開始しました。

【5月24日】

平成9年度総会(市役所10階)
研修会では市防災対策課参事補・防災士 浅井氏の「防災講座」で勉強しました。

【8月 3日】

屋外訓練及び親睦会(富士川河川敷)
・レピータの使用説明。
・移動用アンテナの設置(デモ)。
・バーベキューで腹を満たし、親睦を深めました。

【9月 1日】

富士市総合防災訓練に参加(原田小)
・初めて市の会場型総合防災訓練参加。
・レピータ2波 144MHz1波、430MHz 1波にて運用訓練。

【12月 7日】

地域防災訓練に参加(市役所駐車場)
見学者は車に準備された144/430のアンテナなどの装置にびっくり。
「このアンテナでは遠くまで届くだろう」「遠距離通信は、むこうは長い1本線のアンテナ(DPのこと)ですよ。」と説明。
・途中であがりましたが、雨の中での訓練でした。

★トピックス

平成9年2月24日 ゲストオペレータ制度導入

平成9年4月 1日 旧コールサイン再取得制度開始

平成10年度(1998年度)



屋外訓練及び親睦会
(富士川河川敷)



富士市総合防災訓練参加中
(米の宮公園)



地域防災訓練参加中
(富士川河川敷)

【5月23日】

平成10年度総会(市役所10階)

・研修会では、県防災情報研究所 藤原氏の東海地震の講話。

【8月 2日】

屋外訓練及び親睦会(富士川河川敷)

・移動用装置の設置(デモ)。
・SSTVのデモを初めて行う。
・親睦はバーベキューで！
・静岡第一テレビ「リポーターズクラブ員」の取材を受け、TVにて放映された。

【9月 1日】

富士市総合防災訓練に参加(米の宮公園)

・レピータ2波 144MHz/430MHz 各1波にて運用訓練。
・SSTVによる画像通信を防災訓練に取り入れる。
・画像通信を行っていることが報道に伝わり、「機器はどれ？」と取材を受けたが記事にならず！

【12月 6日】

地域防災訓練に参加(富士川河川敷)

・会員の技術研修を兼ねSSTVのデモ運用。
(富士市比奈、市役所、田方郡函南町との交信)

【1月15日】

富士市災害ボランティア連絡会発足

(8団体にて発足)

・発災時に活躍を期待できる市内の団体が連帯を取るために連絡会を結成。

平成11年度(1999 年度)



地域防災訓練に参加
(社会福祉センター 東部プラザ)



地域防災訓練に参加
(社会福祉センター 東部プラザ)

【5月22日】

平成11年度総会(市役所10階)

・研修会では、市消防救急隊員から救急の場合の対応、119番について教わりました。

【8月 1日】

屋外訓練及び親睦会(富士川河川敷)

・親睦会はいつものバーベキュー。

・前年に続きモバイル移動運用、SSTV、パケット通信のデモ。

・ATV機器を用いて動画のデモを！

【9月 1日】

静岡県総合防災訓練富士会場に参加(富士海岸)

・運用はいつもの、レピータ 2波 144MHz/430MHz 以外に会場内で、ATV、SSTVを運用。

・静岡県メイン会場なのでHF(7MHz)を使用し、JARL本部局県外局とも交信。

・430MHz はビッグアンテナを使用し、横浜市の訓練会場と交信！

【10月20日】

防災船「希望」に乗船し防災通信訓練

・船のスピードが速すぎ(75km/h)高速運航時はデッキに出れず。(低速運航になっても風切り音で交信が大変だった)

【11月14日】

消防まつりで公開運用とパソコンでイベントに参加し、会をPR

【12月 5日】

地域防災訓練に参加(東部プラザ)

電波伝搬状況を確認するため、翌年の防災訓練の行われる地区に移動し、地区の伝搬の特徴を調べる

・12月の運用はモバイル運用等、設置の簡易化も検討課題。

(一般周波数のアンテナは仮設GP、レピータは完全モバイル運用)

平成12年度(2000年度)



8J2000記念局協力運用
(富士市総合グラウンド)



地域防災訓練に参加



橋仮設・渡河訓練SSTV画像(富士川)



消防防災庁舎・落成記念

【5月21日】

平成12年度総会(市役所10階)

研修会は日本気象協会 久納敏夫氏の「気象と無線」

【7月13日～7月16日】

8J2000 運用;全国高校文化祭記念局を協力運用
・持ち回りで運用。(写真は総合グラウンド)

交信局数:1938

【8月 6日】

屋外訓練及び親睦会(富士川河川敷)

【9月 1日】

富士市総合防災訓練(須津小学校)に参加

・本格的な雨の中で防災訓練:災害に天気は無関係です。

【11月 9日】

県防災船「希望」に乗船しての通信訓練(田子の浦港)

【11月12日】

消防まつりに参加

【12月 3日】

地域防災訓練に参加:本部を今泉小学校に設置

・新聞記事はATVについて各社PRしてくれた。

・富士川では自衛隊による橋の仮設訓練が行われSSTV部隊が現地から富士市本部へ画像を送信(自衛隊が特等席を提供してくれた。)

【12月23日】

画像通信訓練実施

県防災船「希望」船上 ⇔ 清水港 にてSSTV通信訓練

・430MHz・FMを使用し、船はGP、港は屋上に15エレ×2八木で船を追従。

【1月16日】

災害ボランティア連絡会主催の「講演会」参加。

・富士常葉大学・環境防災学部 重川助教授 講演「自らの命は自ら守る」。

【3月】

消防防災庁舎落成

・SSTV、ATVデモ実施

平成13年度(2001年度)



富士市総合防災訓練参加中
(吉原二中)



消防まつり
アマ無線非常通信協力会ブース



地域防災訓練(岩松中)
ATV送信中

【5月20日】

平成13年度総会(消防防災庁舎7階)

・研修会では会員講師により「非常通信の規定、レピーター、SSTV、ATV」について研修した。

【7月10日～15日】

元吉原水難事故に災害ボランティア連絡会として捜査活動に協力

【8月 5日】

屋外訓練及び親睦会(富士川河川敷)

・衛星通信デモを行い、144MHz(UP)GP、430MHz(DOWN)手持ち八木で交信成立し、衛星通信の身近さを体験した。

【9月 1日】

富士市総合防災訓練に参加(吉原二中)

・ATVは校舎の屋上から送信し、防災対策本部の大型スクリーンでモニタした。

・SSTVはハンディートランシーバ+内蔵ホイップで訓練現場から送信。

【11月10日～11日】

富士常葉大学学園祭で東海道400周年祭SSTV運用

【11月11日】

消防まつりで移動公開運用(SSTV)

・富士常葉大学祭とSSTVで交信。

【11月14日】

防災訓練参加:防災船体験乗船訓練

田子浦港 ⇄ 船間SSTV画像通信訓練

・訓練乗船体験者にSSTVをPRするための運用

【11月23日】

画像通信実験を県防災船「希望」⇄清水港間で実施

・下田市⇄清水市を画像で結べないかと、7MHzで挑戦したがアンテナ調整不良で失敗。

【12月 2日】

地域防災訓練に参加(本部を岩松中に設置)

・ATVで初めて市役所と現地との相互通信を行った。

【2月 8日】富士市フィランセを常置場所とする富士市災害ボランティアHAMクラブ JI2ZQH が免許される。

平成14年度(2002 年度)



富士市総合防災訓練
(雁がね運動公園)



富士市総合防災訓練参加中
(足場上からATV送信中)



災害ボランティア見本市参加



災害ボランティア支援本部

【5月19日】

平成14年度総会

「富士市において想定される大規模災害」

講師:富士市防災対策課 主査

兼 静岡県防災士 片田 等氏

【7月 6日】

津波避難訓練参加

・津波防止用水門からはSSTVで湾内の訓練の様子はATVで情報伝達。

【8月 4日】

屋外訓練及び親睦会(富士川河川敷)

【8月 6日~7日】

アマチュア無線初心者運用講習会実施

(フィランセ)

高澤会長が講師となり、免許取得者を対象に運用講習会を実施しました。

【9月 1日】

富士市総合防災訓練に参加(雁がね運動公園)

・富士市災害ボランティア連絡会として参加

アマ無線非常通信協力会は、現地 ⇄ フィランセ ⇄ 市役所間の情報伝達を行う。

・周囲に高い建物が無いため、ATV班は足場やぐらの上から悪戦苦闘。

【11月10日】

消防まつり参加

【12月 1日】

地域防災訓練に参加

・鷹岡中学校を借用してアマ無線だけの訓練を実施。【雨の中でも頑張りました】

【1月19日】

災害ボランティア見本市に参加

・内閣府主催の見本市、リニューアルされた静岡県地震防災センターを会場として開催

・富士市災害ボランティア連絡会として参加

【1月26日】

災害ボランティア支援本部開設訓練に参加

(フィランセ内)

平成15年度(2003年度)



テントから非常通信訓練実施中



富士常葉大学会場でのシャック



今泉小現地本部



今泉小屋上からATV通信

【5月18日】

平成15年度総会

富士市消防庁舎 7階大会議室にて開催。

総会終了後、「SSTV運用について」会員の新村勝彦氏(JA2CNT)、小林政毅氏(JR2TZJ)、芦塚 眞氏(JL2GSN)により講話がありました。

【8月 3日】

屋外通信訓練及び親睦会(富士川河川敷)

【9月 1日】

富士市総合防災訓練に参加(市立鷹岡中学校)

・富士市災害ボランティア連絡会として参加

アマ無線非常通信協力会は、現地 ⇄ フィランセ

⇄ 市役所間の情報伝達を実施。

・中学校の校舎屋上から、ATV班は撮影&データ送信を実施しました。

【9月13日～16日】

Newわかふじ国体広報支援で、8J2NWK/2を運用

JJ2TFF、JO2PMW他各局のご尽力で期間中、総QSO数は、2782局と当初の予想を大きく超える数字でした。

【11月 9日】

消防まつり参加

【11月20日】

富士市災害ボランティア連絡会視察研修
視察場所

①厚木市 ぼうさいの丘公園

②駿東郡小山町 陸上自衛隊富士学校

参加者 20名

【12月 7日】

富士市地域防災訓練参加

・会場は今泉小と吉原小で実施されました。

【 2月 1日】

災害ボランティア支援本部開設訓練参加

・支援本部をフィランセ内ボランティアルーム、現地支部を市内2箇所の社会福祉センターに開設。

平成16年度(2004年度)



小千谷市ボランティア本部受付



アマチュア無線本部



支援物資受渡し訓練



屋外でSSTV画像受信中

【4月23日】

平成16年度総会

・富士市フィランセ(ボランティアルーム)にて開催。総会終了後、「東海地震に関する情報体系の変更、富士市防災マップについて」富士市役所総務部防災対策課 主事 石井俊勝様が講話。

【4月25日】

「あっぱれ富士」に協力

【8月1日】

屋外通信訓練及び親睦会(富士市大淵)

・屋外通信訓練とバーベキューを実施しました。

【8月29日】

富士市総合防災訓練

・参加予定でしたが、台風の接近で残念ながら訓練は中止となりました。

【11月14日】

消防まつり参加

・活動内容は、アマ無線協力会活動写真展示、SSTVデモ運用、写真入力カレンダーの作成と 東海総合通信局協力による不法電波撲滅キャンペーンを実施しました。

【11月19日～21日】

新潟県中越地震後のボランティア活動参加

・キノコセンターでは、防塵マスクをしての慣れない作業で手間取りましたが、被災地への援助になればと、参加者は一生懸命に作業に取り組んでいました。

【12月5日】

地域防災訓練に参加

・富士市立吉原小学校を訓練会場として、地域防災訓練が実施されました。

【1月23日】

災害ボランティア支援本部開設訓練に参加

・フィランセに災害ボランティア支援本部を設置して、訓練が開始されました。

・SSTVによる情報収集を行いました。

平成17年度(2005年度)



湖西市での交流会



アマチュア無線運用のテント



災害ボランティア支援本部



NTT 伝言ダイヤル 171 体験(JA2CNT)

【4月15日】

平成17年度総会

・富士市フィランセ(ボランティアルーム)にて開催。

【4月24日】

「あっぱれ富士」に協力

【6月9日】

「湖西市災害ボランティアと富士市災害ボランティア連絡会との交流会に参加」

・湖西市民会館で両団体の会員をはじめ、両市の職員ら、湖西側から14人、富士市側から21人が出席して行われました。

【8月28日】

富士市防災訓練に参加(市立元吉原小学校)

・富士市災害ボランティア連絡会として参加

アマ無線非常通信協力会は、現地 ⇄ フィランセ ⇄ 市役所間の情報伝達を実施。

【12月4日】

富士市地域防災訓練に参加(市立広見小学校)

・富士市災害ボランティア連絡会として参加

アマ無線非常通信協力会は、現地 ⇄ 消防防災庁舎間の情報伝達を実施。

【1月22日】

災害ボランティア支援本部開設訓練に参加

・フィランセに災害ボランティア支援本部を設置して、訓練が開始されました。

・アマチュア無線本部は同本部横に設置し、本部からの指示を各支部への連絡や、各支部からの情報を災害ボランティア支援本部に報告する訓練に参加しました。

・県行政センター駐車場では、起震車で地震の揺れを体験する機会に恵まれ、多数の参加者が経験していました。同センター駐車場ではその他、発電機の始動訓練、テントの設営訓練等、多数の訓練が実施されていました

・SSTVによる情報収集を行いました。

平成18年度(2006 年度)



広見小のアマチュア無線本部



校舎屋上からATVカメラ撮影



メンバー自作の 1.2GHz ANT



アマチュア無線本部

【4月13日】

平成18年度総会

・総会終了後、高澤会長による「地震・災害発生時行動マニュアル」の講演がプロジェクタを使って行われました。

【9月3日】

富士市防災訓練に参加(市立広見小学校)

・富士市災害ボランティア連絡会として参加
アマ無線非常通信協力会は、現地 ⇄ フィランセ
⇄ 市役所間の情報伝達を実施。
・SSTV画像通信も実施。

【12月3日】

富士市地域防災訓練に参加(市立吉原北中学)

・富士市災害ボランティア連絡会として参加
アマ無線非常通信協力会は、現地 ⇄ 消防防災庁舎間の情報伝達を実施。
・他に市内に点在する公民館に開設したアマチュア無線局と交信しました。

【1月28日】

災害ボランティア支援本部開設訓練に参加

・フィランセに災害ボランティア支援本部を設置して、訓練が開始されました。
・アマチュア無線本部は同本部横に設置し、本部からの指示を各支部への連絡や、各支部からの情報を災害ボランティア支援本部に報告する訓練に参加しました。
・県行政センター駐車場では、起震車で地震の揺れを体験する機会に恵まれ、多数の参加者が経験していました。同センター駐車場ではその他、発電機の始動訓練、テントの設営訓練等、多数の訓練が実施されていました
・SSTVによる情報収集を行いました
・フィランセ会場では、炊き出しがあり、寒い訓練中に豚汁が温かった！
・

平成19年度(2007年度)



佐野智恵子さんによる講演



アマチュア無線非常通信協力会本部



ATV 送信中



第二東名にヘリコプターが来ました

【4月26日】

平成19年度総会

- ・富士市フィランセ(ボランティアルーム)にて開催。
- ・総会終了後、Radio-f(富士コミュニティFM)防災担当佐野智恵子さんによる「ラジオエフと災害時の役割について」の講演が行われました。

【8月5日】

屋外通信訓練及び親睦会

- ・富士市大淵で屋外通信訓練及び親睦会を開催しました。

【9月2日】

富士市防災訓練に参加(市立吉原北中)

- ・富士市災害ボランティア連絡会として参加
- アマ無線非常通信協力会は、現地 ⇄ フィランセ ⇄ 市役所間の情報伝達を実施。
- ・ATV映像、SSTV画像通信も実施。
- ・ヘリコプターが飛来して、工事中の第二東名へ着陸しての救助訓練を行いました。
- ・コミュニティFM局 Radio-fが会場に特設スタジオを開設しました。ナビゲータさんが会場内を移動しながらインタビューをしている様子が84.4MHzでオンエアされました。

【1月27日】

災害ボランティア支援本部開設訓練に参加

- ・フィランセに災害ボランティア支援本部を設置して、訓練が開始されました。
- ・アマチュア無線本部は同本部横に設置し、本部からの指示を各支部への連絡や、各支部からの情報を災害ボランティア支援本部に報告する訓練に参加しました。
- ・SSTVによる情報収集を行いました
- ・フィランセ会場では、炊き出しがあり、寒い訓練中に豚汁が温かった！
- ・H20年11月に富士川町が富士市に合併しますが、富士川町からも参加がありました。また、富士見高校からも2名(男女各1名)が参加しました。

平成20年度(2008 年度)



7MHz SSBで交信中



校舎屋上で144MHzにて交信中



フィランセでのボランティア受付風景



増進ホールのアマチュア無線本部

【4月24日】

平成20年度総会

- ・富士市フィランセ(ボランティアルーム)にて開催。
- ・総会終了後、富士市防災危機管理課主幹笠井洋一郎様による「全国瞬時警報システム(J-ALERT)の運用について」の講演が行われました。静岡県内では初めての運用との事です。

【8月3日】

屋外通信訓練及び親睦会

- ・庵原郡富士川町の野田山健康緑地公園で屋外通信訓練及び親睦会を開催しました。
- HFの運用はJJ2TFF入海さんが、無線機、アンテナ、発電機を用意しての運用となりました。

【8月31日】

富士市防災訓練に参加(市立田子の浦小)

- ・富士市災害ボランティア連絡会として参加
- アマ無線非常通信協力会は、現地 ⇄ フィランセ ⇄ 市役所間の情報伝達を実施。
- ・ATV映像、SSTV画像通信も実施。
- ・ヘリコプターが飛来して校舎屋上で救助訓練を行いました。

【12月7日】

地域防災訓練に参加

- ・富士市立吉永第一小学校(主会場)に開催されました。今回はミニ会場型訓練であり現地本部にテントを設営し運用しました。

【1月25日】

災害ボランティア支援本部開設訓練に参加

- ・フィランセに災害ボランティア支援本部を設置して、訓練が開始されました。
- ・アマチュア無線本部は同本部横に設置し、本部からの指示を各支部への連絡や、各支部からの情報を災害ボランティア支援本部に報告する訓練に参加しました。
- ・SSTVによる情報収集を行いました
- ・H20年11月、庵原郡富士川町が富士市に合併しましたが、初めて旧富士川町からも無線による訓練を実施しました。

平成21年度(2009 年度)



SSTV 講演は盛況に行われました



会員による移動用特製セット
八木アンテナ、BATT 等を背負う



会員特製の移動局

【4月24日】

平成21年度総会

- ・富士市フィランセ(ボランティアルーム)にて開催。
- ・総会終了後、JA2BWH杉澤さんによる、SSTV講習(パソコンによる受信実験)が行われました。

【8月9日】

屋外通信訓練及び親睦会

- ・富士市の野田山健康緑地公園で屋外通信訓練及び親睦会を開催しました。

【8月30日】

富士市防災訓練に参加(市立吉原商業高)

- ・富士市災害ボランティア連絡会として参加
- アマ無線非常通信協力会は、現地 ⇄ フィランセ ⇄ 市役所間の情報伝達を実施。

【11月15日】

消防まつり参加

- ・活動内容は、アマ無線協力会活動写真展示、SSTVデモ運用、写真入カレンダーの作成と 東海総合通信局協力による不法電波撲滅キャンペーンを実施しました。

- ・東海総合通信局からは、デンパ君が訪問して、子供たちの人気の的でした！

【12月6日】

地域防災訓練に参加

- ・富士市立富士第二小学校で参加しました。
- ・この会場は、グラウンド北側に校舎があり、移動SSTV局のグラウンドから市役所本部までの電波伝播が難しいかもしれないとの前予想がありましたが、会員特製のハンディタイプの3エレ八木を使い電波伝搬には問題ありませんでした。

【1月24日】

災害ボランティア支援本部開設訓練に参加

- ・フィランセに災害ボランティア支援本部を設置して、訓練が開始されました。
- ・今回から簡易無線(固定用無線機1台、移動用ハンディ機2台)を訓練に使用しました。普段アナログ通信に精通してる会員達が、デジタル通信を初めて経験しました。

平成22年度(2010年度)



野田山現地設営の 7MHz ANT です



レピータによる運用



市役所に向けた 1200MHz アンテナ



わた菓子販売が好調でした

【4月23日】

平成22年度総会

- ・富士市フィランセにて開催。
- ・会長は今年度から、JR2IIC西村さんが就任しました。講習では、APRS、EchoLink実演による説明が行われました。

【8月1日】

屋外通信訓練及び親睦会

- ・富士市の野田山健康緑地公園で屋外通信訓練及び親睦会を開催しました。(昨年と同様の会場)

【8月29日】

富士市総合防災訓練に参加(富士市立富士第二小学校)

【11月14日】

消防まつり参加

- ・活動内容は、アマ無線協力会活動写真展示、SSTVデモ運用、写真入力カレンダーの作成と 東海総合通信局協力による不法電波撲滅キャンペーンを実施しました。

【12月5日】

地域防災訓練に参加

- ・富士市立富士川第一中学校で参加しました。
- ・この会場は、富士市役所方面へ障害物がなく、移動SSTV局のグラウンドから市役所本部までの電波伝播には全く問題がありませんでした。
- ・校舎東側非常階段の踊り場でATVを開局しました。
- ・グラウンド内の移動SSTV運用も校舎が電波伝搬に影響を与えるような位置に移動しましたが、市役所へは良好に画像が届いているレポートを貰いました。
- ・SSTVは今回初めて参加した方にも運用をお願いし、SSTVの運用を経験して頂きました。

平成23年度(2011年度)



東日本大震災支援活動報告



富士市長 鈴木尚氏挨拶



アマ無線非常通信協力会のテント



校舎屋上からATV運用中の西村会長

【4月27日】

平成23年度総会

・富士市フィランセにて開催。
・新村監事よりアマチュア無線に関するトピックスの紹介がありました。

1)JJY福島標準電波停波

2)JA1RL等非常通信への妨害電波

・総会終了後、JA2APN高澤相談役による非常通信についての講演と富士市防災危機管理課 太田様による、東日本大震災 支援活動報告として、岩手県大槌町の状況と支援活動内容が現地の画像入り報告書で紹介されました。

・高澤相談役による講演は電波法から見た非常通信を改めて再認識する事ができて、とても参考になりました。また、当会発足時の貴重なエピソードも聞くことができました。

・太田様の報告と現地画像の状況から被災状況の深刻さを改めて痛感しました。

【7月15日～18日】

・岩手県下閉伊郡山田町被災地支援活動に協力

【8月28日】

富士市総合防災訓練に参加

(富士市立富士川第一中学校)

・富士市災害ボランティア連絡会として参加

アマ無線非常通信協力会は、現地 ⇄ 市役所間の情報伝達を実施。

・ATV映像、SSTV画像通信も実施。

・SSTVをまちづくりセンターから運用する方もいました。

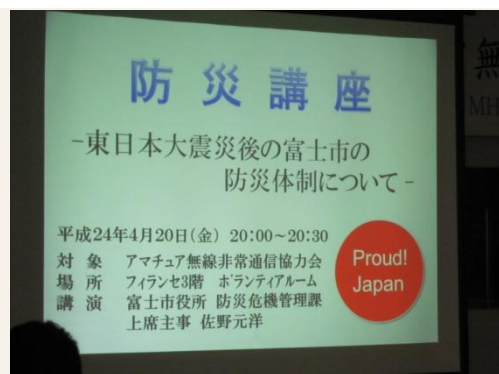
・市内各まちづくりセンターへ協力会より出向き、常設設備の動作テストを兼ねた運用を行った。

・今年も昨年同様に猛暑の中、水分補給をしながらの訓練参加となりました！

【11月18日】

当協力会の設立15周年記念式典・懇親会が市内蓼原の東芝クラブ「朝霧の間」で開かれました。

平成24年度(2012 年度)



総会後に行われた防災講座



富士見台における移動運用訓練



消防まつりでのテレビカメラ取材

【4月20日】

平成24年度総会

- ・富士市フィランセにて開催
- ・役員改選を行い、原案どおり承認を頂きました。
- ・総会終了後、富士市役所総務部防災危機管理課 上席主事 佐野様から、「東日本大震災後の富士市の防災体制について」の特別講演をして頂きました。

【8月19日】

屋外通信訓練及び親睦会

- ・富士市富士見台で屋外通信訓練及び親睦会を開催しました。
- ・7MHzの運用は JA2FJF 浅井さん、50MHzの運用はJJ2TFF入海さんが、発電機を用意しての運用となりました。
- ・50MHzでは、GW+スカッター伝搬で遠方とQSOが出来ました。三重県方面にアンテナを向けると、JA2IGY Beacon が 599+で強力に入感していました。季節柄、富士山山頂からの移動運用局とのQSOも出来ました。

【8月26日】

富士市総合防災訓練に参加

(富士市立青葉台小学校)

アマ無線非常通信協力会は、現地 ⇄ 市役所間の情報伝達を実施。

- ・ATV映像、SSTV画像通信も実施。
- JP2YEUレピータ: 439.92MHzを利用して常設設備の動作テストを兼ねた運用を行いました。
- ・災害ボランティア連絡会では、特小無線機を訓練に参加した小中学生に貸与し、会場内で無線機による情報収集の体験を実施しました。

【11月11日】

消防まつり参加

- ・富士市役所北側駐車場を会場にして毎年実施されている消防まつりにアマ無線非常通信協力会として参加しました。

公開運用のほか、恒例の綿菓子の販売を行いました。

平成25年度(2013 年度)



総会での役員改選

【4月24日】
25年度総会

：市フィランセにて開催

- ・今年度の総合司会は(JQ2KPP)高柳会計が勤め、議案は、全て承認されました。
- ・新村監事(JA2CNT)による無線機器のスプリアス規格変更についての説明がありました。
- ・総会終了後、富士市防災危機管理課 上席主事 佐野様から、「富士山噴火について」の講演をして頂きました。

【8月18日】

屋外通信訓練及び親睦会

- ・今年も昨年同様の富士市富士見台で屋外通信訓練と親睦会を開催しました。
- HF帯と430MHzで移動運用を行いました。
- ・猛暑の中、22名が参加してくれました。

【11月10日】

消防まつり参加

- ・富士市役所北側駐車場を会場にして毎年実施されている消防まつりにアマ無線非常通信協力会として参加しました。

会場では恒例の綿菓子、ポップコーンを販売しました。

【1月26日】

災害ボランティア支援本部開設訓練に参加

- ・フィランセに災害ボランティア支援本部を設置して、訓練が開始されました。

- ・アマチュア無線本部は同本部横に設置し、本部からの富士川各支部への連絡や情報を災害ボランティア支援本部に報告する訓練に参加しました。

- ・SSTVによる情報収集を行いました

- ・今回も市内の高校から多数の高校生が訓練に参加してもらいました。

- ・当日はフィランセと災害ボランティア現地支援支部(富士川支部)にも無線局を設置して、音声、SSTV通信を行いました。

- ・au様よりモバイルルータを無償で貸与して頂き、インターネットを利用した情報収集を行いました



消防まつりで活躍したDENPA君



軽トラックに乗せた発電機

平成26年度(2014年度)



総会受付時の状況

【4月24日】

平成26年度総会

富士市フィランセにて開催

開会、会長挨拶、来賓の紹介に続き、議事に入りました。

・今年度も総合司会を高柳会計が勤めました
(JQ2KPP)

・本年度は役員改選ですが、新たな2名の役員を含め、皆様のご承認を頂きました。

・議事提案を行い、無事全て承認されました。

・総会終了後の講演会では富士市防災危機管理課主査 佐野様による「平成25年度富士市防災対策報告及び平成26年度防災対策計画」についてお話を頂きました。



富士市の防災対策計画を学ぶ

【8月17日】

屋外通信訓練及び親睦会

富士市の野田山健康緑地公園で屋外通信訓練及び親睦会を開催しました。

【11月8日】

ふじさんめっせで開催された富士市主催の「ふじBousai2014」に参加しました。



富士市長による開会のあいさつ

【11月9日】

消防まつり参加

・富士市役所北側駐車場で開催された、消防まつりにブースを出店してアマチュア無線を広報しました。



ふじ Bousai2014

平成27年度(2015 年度)



富士見台でのアンテナ設置

【4月24日】

平成27年度総会

- ・富士市フィランセにて開催
 - ・今年度も総合司会の高柳会計が勤めました
 - ・議事提案を行い、無事全て承認されました。
- 総会終了後の講演会では富士市防災危機管理課 勝亦様による「平成26年度富士市防災対策及び平成27年度防災対策計画」についてお話を頂きました。

【8月2日】

屋外通信訓練及び親睦会

- ・富士市の今宮ふれあい公園で屋外通信訓練及び親睦会を開催しました。

【11月14日】

ふじさんめっせで開催された富士市主催の「ふじBous ai2015」に参加しました。

- ・会場内ではSSTVによるデモと説明、当会の活動について説明を実施しました。

【11月15日】

富士市消防祭りに参加

- ・富士市役所北側駐車場で開催された富士市主催の消防祭りに参加しました。

- ・アマチュア無線デモや恒例のポップコーン販売を実施しました。

【1月30日、31日】

災害ボランティア支援本部開設訓練に参加

- ・フィランセに災害ボランティア支援本部を設置して、訓練が開始されました。

- ・アマチュア無線では、本部と富士川支部との連絡や報告を行う訓練を行いました。

- ・会場内を移動してSSTVによる情報収集を行いました。

- ・アマチュア無線の新しい試みとして、APRSによる移動局の位置情報をインターネット経由でパソコンに接続されたディスプレイで表示しました。

- ・インターネットを活用して携帯電話、スマホから画像データを専用サイトへ送信すると掲示板で表示される取り組みも行いました。



災害ボランティア支援本部無線担当



APRSコーナー

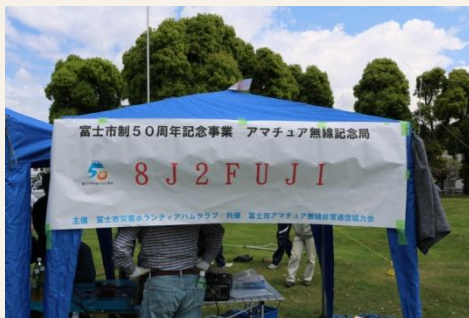


富士川支部からのSSTV画像

平成28年度(2016 年度)



富士市政50周年記念局QSLカード



市庁舎東側広場での記念局運用



富士ハイツ跡地での記念局運用



みなと公園での記念局運用

【4月26日】

平成28年度総会

講演会は、防災危機管理課の勝亦様により、富士市の防災対策(静岡県地震第4次被害想定)について、お話を伺いました。

【4月29日】から【11月30日】まで

富士市政50周年記念局「8J2FUJI」を運用

市庁舎東側広場、富士ハイツ跡地、富士川楽座東側駐車場、みなと公園、富士市役所屋上、今宮ふれあい公園その他にて移動運用を実施



市役所屋上での記念局運用



今宮ふれあい公園での記念局運用

平成28年度役員

顧問 富士市長 小長井義正
富士警察署長 永尾克彦
静岡県東部危機管理局技監兼地域支援課長 大島新一

相談役 JA2APN 高澤勝彦
会長 JR2IIC 西村密雄
副会長 JF2UAQ 田中隆徳、JA2GDK 中村増美
理事 JA2FCV 鈴木義明、JE2AVU 浅場幸夫、JF2TSS 芦川 智
JM2GOE 清 泰雅、JR2PMQ 斎藤信泰
会計 JJ2TFF 入海隆夫、JQ2KPP 高柳利雄
監事 JA2CNT 新村勝彦、JA2QYN 菅谷守孝

富士市アマチュア無線非常通信協力会

設立20周年記念誌 無線の仲間たち

発行日 平成28年11月11日

発行者 富士市アマチュア無線非常通信協力会

会長 JR2IIC 西村密雄

静岡県富士市入山瀬662-20

TEL 0545-71-4989

<http://www.geocities.jp/fujisvhamclub/index.html>